

10/10 第77回浦添市戦没者追悼式

平和について学び多くの人に語り伝えていく浦添市 ピースメッセンジャー(市内中学生10人)が、松本市長や 議会、遺族会などの代表者と共に、浦添城跡にある浦和 の塔で行われた第77回戦没者追悼式に出席しました。

参加者たちは、先の大戦で亡くなられた御霊のご冥福 と世界の恒久平和を願い、祈りを捧げました。

ピースメッセンジャーからは「幸せは当たり前じゃない」 「今ある平和を未来へ」など、平和への思いが込もった メッセージが届けられました。

今回式に参加した中学生10人は、浦添国民学校の児 童が疎開した宮崎県日向市を12月に訪問予定で、平和 についての学びをさらに深めていきます。



10/12 新てだこ大使とユニフォームデザイン決定

市の魅力を発信するてだこ大使の市長表敬と、てだこ 大使ユニフォームデザインの感謝状贈呈式が市長応接 室で行われました。

てだこ大使として新たに仲嶺真吾さん(左)、大城さ やかさん(左2人目)、上原有紀さん(中央)が選ばれまし た。上原さんは「燃え続ける浦添愛を大使として存分に 発揮し、浦添の魅力を発信したい」と意気込みました。

また、今回ユニフォームをデザインしたIDA2年の仲 宗根萌さん(右2人目)は「3人の新たなてだこ大使の意 気込みを後押しできるようなユニフォームになってほし い」と完成を待ち望み、てだこポケットフェスタ(てだこま つり)でのお披露目を楽しみにしていました。



10/6 南米研修生と交流 UIRA茶話会

南米研修生との交流を目的として、UIRA(浦添市国際 交流協会)茶話会が市役所で開催されました。

交流会では、ペルーから来たバネッサさんとアルゼン チンから来たナオミさんが、それぞれの出身国のことを 参加者に紹介しました。参加者は、普段なかなか耳にす ることができない南米の国の話に興味津々な様子でし た。交流会の後半には、ミニゲームをして和やかな雰囲 気になったところで、研修生とテーブルを囲み会話を楽 しみました。

研修牛の2人は「とても楽しい時間だった。沖縄にいる 間にもっとたくさんの人と交流したい」と話しました。



10/7 誰もが働ける環境を目指して

企業をはじめ、教育、福祉、行政、医療の各関係者や 保護者が集い、障がいのある人の「夢」や「希望」を実現 するための環境づくりについて考える、雇用・就労支援 フォーラムが開催されました。

障がいのある当事者の体験発表や、「究極の働きやす さをめざして」をテーマに基調講演が行われました。

講演では、有限会社奥進システムの奥脇学社長が「社 員12人中10人が障がいを持っているが、障がい者をあ えて採用しているのではなく、誰もが働きやすい職場づ くりをしている。働きやすい職場には従業員の話しやす い雰囲気づくり、事業主側の聞き出す仕組みをつくる努 力が不可欠です」と話しました。



9/26 第55号 輝くてだこ市民賞

6月に大阪府で開催された、第39回オープントーナメ ントウエイト制全日本空手道選手権大会の女子軽量級 で優勝を果たした、沖縄キリスト教学院大学1年の宮城 名月さんが、第55号となる輝くてだこ市民賞を受賞しま

市長から表彰状および記念品を受け取った宮城さんは 「11月に行われるインターカレッジでも優勝して、良い 報告ができるように頑張ります」と次の大会に向けての 抱負を語り、松本市長は「空手は沖縄の伝統的なもので もあるため、これからも第一線で活躍していくことを期 待しています」と話しました。





市ホームページ「うらそえトピックス」

\ 話題がいっぱい /

市内各地で行われたイベントや、 まちの話題をお届けします。 ここで"なかゆくい"しませんか。 (なかゆくい = ひと休み)

した。



9/29 消防団操法大会で訓練の成果競う!

中部地区の消防団が操作技術を競う「消防団操法大 会 | が沖縄県消防学校(中城村)で開催され、本市消防団 は「ポンプ車操法」と「小型ポンプ操法(男子)」の部に出 場しました。

雨が降る中での競技になりましたが、日々の訓練の成 果を発揮し、「小型ポンプ操法」で3位に入賞しました。

消防団は、会社員、学生、主婦など本来の仕事や学業 を持ちながら、消防団員として活動しています。今回、大 会に出場した団員の上原聖也さんは「前大会と同じメン バーで久々に入賞できたのはとても嬉しい。これからも 市民や地域の安心・安全を守っていきたい」と抱負を語 りました。



9/25 タオルでポケフェスを盛り上げる!

陸上競技場の利用制限に伴い、名称を新たに変えた「て だこポケットフェスタ〜第46回浦添てだこまつり〜」の開催 にあたり、専修学校インターナショナルデザインアカデミー (IDA)の学生に、タオルデザイン制作のご協力をいただき ました。作成された全11作品のうち、総数2,111票のWEB 投票で1位に輝いた伊東紗彩さん(527票)の作品が、まつ りを盛り上げるためのタオルデザインに決定しました。

伊東さんは「ポケフェスの名称はポップなイメージなの で、太陽を中心にまつりに関連するエイサーや、きいやま商 店のイラストが花火のように弾ける様子をデザインしまし た」と話し、松本市長は「デザイン作成は苦労されたと思い ますが、明るく楽しい雰囲気が伝わる」と称賛しました。